

令和5年度 佐久市総合計画審議会第3部会（第1回） 議事録

日時：令和5年7月7日（金）

午後3時～3時50分

場所：佐久市役所議会棟

第2委員会室

【出席者】雨宮部会長、武重委員、麻生委員、工藤（亨）委員、成澤委員、
白倉委員、酒井委員、渡辺委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、金澤主任、小林（拓）主任、井出
主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（工藤（冨）委員、相澤委員、土屋委員、戸塚委員）

2 議事

（1）第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について
質疑、意見

事務局	①役員の改選による審議会委員への就任の報告 ②前回の全体会での意見への回答 ③令和4年度佐久市総合計画審議会委員からいただいた意見の その後の検討状況の報告
事務局	基本目標3「結婚・出産に先んじて子育てのトップランナーを 目指す、佐久市における『ひと』の創生」について説明
部会長	基本目標3について、質問、意見等はあるか。
委員	基本目標3にかかる具体的な項目の進捗状況について、これが 十分なのか不足しているのか判断がつかないが、共働き世帯など 父親が十分に育児に参加できないケースがある。母親の育児負担 軽減のためにも、民間企業に対して子育て支援への協力を働きか けるようなことを計画及び事業に取り入れると良いのではない か。また、一歩先を行く保育は、どういうものをイメージしたら

事務局	<p>良いか。</p> <p>子育て支援で139のメニューを展開しているが、他市と差が出ていない状況にある。育児に協力的な事業所が増えること、他市より預けやすい保育環境を整備することなどが「一歩先を行く保育」に繋がると考える。また、国の動きとして、男性の育児休業が浸透していけば状況も変わってくるのではないかと思う。</p>
委員	<p>佐久市でお見合いなどの結婚支援事業は実施しているのか。</p>
事務局	<p>現在、佐久市でマッチングなどは実施していないが、佐久市社会福祉協議会で実施している。</p>
委員	<p>今後、佐久市で結婚支援事業を実施する計画はあるか。高齢化、人口減少などで地域の中で結婚していない人が多い。そうした状況をどう対応したら良いのか考えることがある。今後、佐久市として実施する動きがあれば、地域に発信していきたい。</p>
事務局	<p>ご意見は担当課に繋がせていただく。</p>
委員	<p>基本目標3の内容は、生まれた子に対する支援がメインだが、他地域から若い人を呼び寄せる取組が不足しているように感じる。また、佐久平駅周辺は発展しているが、他地域では耕作放棄地も増え、佐久市として農業を行う若い人を増やす施策が積極的に行われていないように感じる。農業に興味のある若い人を他地域から呼び寄せ、移住してきた人が子どもたちを育てていくような施策が必要。就業支援をすることが子育て支援に繋がると思う。結果として、食料自給率向上にも繋がる。</p>
事務局	<p>地域おこし協力隊が農業の取組を実施しており、望月地区で1名活動している。地域でそういった要望があれば、企画課に繋いでいただきたい。</p>
委員	<p>地区からの要望ではなく、佐久市が全体として積極的に取り組んでいただきたい。</p>

委員	常勤の保育士について、正規職員が不足しているから会計年度任用職員を任用しているのか、子育て支援の拡充のために任用しているのかどちらか。
事務局	正規職員は、少子高齢化や施設の統廃合などの将来的なことも見据えたくて計画的な採用を行っている。現時点で不足する分については、会計年度任用職員を任用し、保育を提供している。
委員	どうやって人を呼び込むかという点、基本目標2にもかかわる点かと思うが、移住をしてくる人の中には、子育てを自然に恵まれた環境でしたいと思っている人が多い。これまで子育ての福祉的な支援について論じられているが、佐久市は子どもを育てるフィールドとして魅力がある。都市部は大都市圏に近い暮らしもできるが、少し目をやると川や山など自然に恵まれており、それを魅力に感じ移住してくると聞いている。長野県で「森のようちえん」という制度があるように、それぞれの地区で1カ所ぐらい自然環境に重点を置いた保育園・幼稚園を選択できるようなプログラムを佐久市で推進していただきたい。また、自然の中で育児ができることをアピールの一つに加えることは、プラスに繋がると思うので検討いただきたい。
事務局	ご意見は担当課に繋がせていただく。

(2) その他
特になし

3 閉会